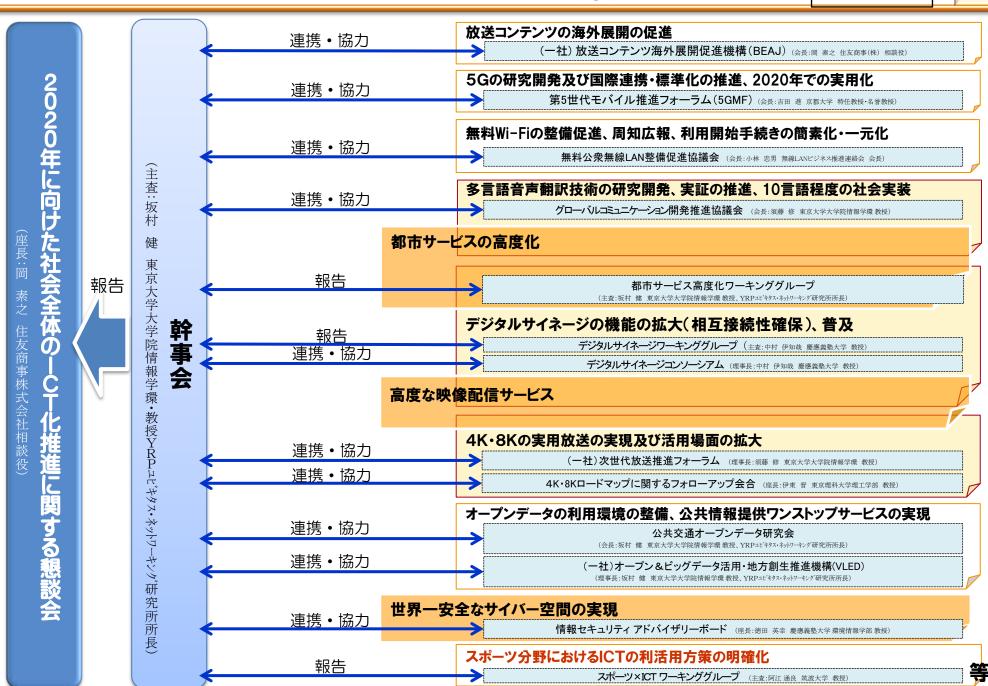
# アクションプラン 概要



# 社会全体のICT化に向けて パッケージ化

### 情報の壁をなくす

### デジタルサイネージの機能拡大

- ✔ 災害時等緊急情報の一斉配信
- ✓ スマートフォン等の連携による属性 に応じた個人に最適な情報配信

### 言葉の壁をなくす

### 多言語音声翻訳対応の拡充

- ✔ 多言語音声翻訳技術の研究開発・技術実証の 推進・社会実装の実現
- ✔ 多言語音声翻訳対応の拡充(10言語以上の 実現、病院・商業施設・観光地等への対応)

### あらゆる状況を把握・活用する

### オープンデータの利活用推進

- ✓ 公共交通情報提供のワンストップ サービスの実現
- ✔ 観光地等における社会実証

## 日本の魅力を発信する

#### 放送コンテンツの海外展開

- ✔ 関係省庁との連携による継続的 取組実施
- ✓ 2018年度までに放送コンテンツの 売上げを2012年度の約3倍の達成

# 高度なICT利活用

# 2020年に向けた社会全体のICT化推進

都市サービスの高度化、大会に向けたスポーツ分野のICT化 等 【アクションプラン新たな柱の追加・高度化】

- 1. 都市サービスの高度化
  - ースマートフォンや交通系ICカード等を活用し、訪日外国人、高齢者、障がい者をはじめ、誰もが、最適な属性(位置、言語、障がい度)に 応じた情報入手やスムーズな行動を可能とする社会の実現
- 11. 高度な映像配信サービス
  - ー映画館、美術館、博物館・競技場などの公共空間のデジタルサイネージに対し臨場感ある映像配信を実現、4K・8KのBtoBサービスの活性化
- Ⅲ. 世界一安全なサイバー空間の実現
  - -ICT環境の大きな変化に対応した新たなサイバーセキュリティの対応体制・方策を確立



# 世界最高水準のICTインフラ

# 接続の壁をなくす

### 無料公衆無線LAN環境の整備促進

- ✓ 主要な観光地や防災拠点(約29,000 箇所)におけるWi-Fiスポットの整備
- ✓ 認証手続きの一元化・簡素化
- ✓ 共通シンボルマークの導入等による 周知広報

### 臨場感の向上

### 4K・8Kの推進

- ✓ 2016年に4K実用放送開始
- ✓ 2018年に8K実用放送開始
- ✓ パブリックビューイングにより2020年東京 大会の感動を全国各地で共有
- 市販のテレビで4K・8Kの番組を視聴可能 ✓ 国際連携の強化、国際標準化の推進

### 世界最先端の通信環境を作る 第5世代移動通信システムの実用化

- ✓ 通信容量 現在の1,000倍
- ✔ 通信速度 現在の100倍
- 現在の100倍 接続数
- 現在の10分の1 ✓ 遅延

## 安心・安全な環境を作る

安心・安全なサイバーセキュリティ空間

- 官民連携体制の整備
- セキュリティ人材の育成
- 大規模サイバー演習環境の構築